

3人4脚



R 5. 1/13(金) 第10号
二宮西中学校学校だより
発行者:和田 智司

「一年の計は元旦にあり」

令和5年に入ってから早くも13日が経過しました。保護者・地域の皆様には、健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。新しい年の始まりにあたり、皆様の益々のご健康とご多幸を願っております。

さて、「一年の計は元旦にあり」という言葉を聞いたことがあると思いますが、戦国の名将毛利元就から由来するそうです。元就は、「何事も始めが肝心だ」とも言ったそうです。・・・一年の計は元旦にあり、一月の計は朔（ついたち）にあり、一日の計は寅の刻（鶏鳴・早朝）にあり、一年の計は勤め（努力）にある。

さらに、元就は「一年の計は努力にあり」とも言っています。「千里の道も一歩から」と言う意味で、最初からぐずぐずしてはだめということだそうです。まとめると「はじめに目標や計画を掲げること、そして、その達成にむけ、絶ゆまぬ努力を続けることが大切である」となるでしょう。

3年生の皆さんは、進路を決定し15の春を迎えるための試練の時が待っています。誰もが乗り越えなければならない壁ですが、あと少しです。自らの目標達成を目指し、歯を食いしばって頑張りましょう。

2年生の皆さんは、4月には3年生となり最上級生となります。これからの二宮西中学校を創るのは、まさしく今の2年生です。一歩も二歩も前進させるのは2年生次第なのです。期待しています。

また、1年生の皆さんは4月には、新入生が入ってきて先輩になります。新年度には、3年生を支え1年生をリードする中堅学年の2年生です。その自覚を持って3学期に臨んでください。

二宮西中学校の生徒一人ひとりが、今年も明るく充実した学校生活が送れるよう教職員一同、一丸となって努力してまいります。保護者、地域の皆様には、今まで同様「ホーム西中」に変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

幸先の良い新学期のスタートが切れました!!

～時間前に集合、自然に静かに、しっかり聞いて素晴らしい始業式でした～

1/10(火)に3学期の始業式が行われました。「Google Meet」を活用し、パソコン室から各教室の大型TVに配信しオンラインで行いました。冬休み中の各種大会で受賞した生徒たちの表彰、学校長の話をしました。その後、岩田先生から交通安全について話がありました。生徒たちは終始みごとにしっかりと話を聞いていました。幸先の良い新学期のスタートを切ることができました。

【3学期始業式 学校長の話より・・・】

(前略)17日間の冬休みが終わり、3学期の始業式を迎えました。今年の冬休みは、皆さんにとってどんな冬休みだったでしょうか。以前3学期を次のように表現した先生がいます。・・・それは、「いちがつはいってしまいう月」、「にがつはにげてしまいう月」、「さんがつはさってしまいう月」です。それほど3学期は短く感じる学期です。

めっきり寒くなりました。この時期になると思い出すある詩があります。その詩にまつわる話を1つします。その詩は、以前、剣道の練習試合で、長野県のある中学校に行ったときに、武道場のトイレに貼ってあったものです。その詩は、このような詩でした。・・・



志望校合格



はきものをそろえると 心もそろふ 心がそろふと はきものがそろふ

ぬぐときにそろえておくと はくときに心がみだれない

だれかがみだしておいたら だまってそろえておいてあげよう

そうすればきっと 世の中の人々の心もそろふでしょう

この詩の作者が気になったので、会場校の顧問の先生に聞いたところ、永平寺の開祖である道元禅師の「却下照顧」の教えを長野県篠ノ井町の円福寺の藤本 幸邦（こうほう）住職がわかりやすい詩として表現したものである。と教えてくださいました。

言うまでもなく、その武道場のトイレのスリッパは、練習試合の最初から最後まで見事にそろっていました。「心がそろふ」ということは、一人の人間として、また、共に社会を生きる者として大切なことです。自然に挨拶をするように、自然に靴をそろえられる人になりたいものです。まずは自分自身が実行し、家族へ、友達へとつなげていきましょう。

私自身、この詩を忘れることなく、生徒の皆さん、そして先生方と共に、教師として少しでも成長し、より良い二宮西中学校を創っていきたい、と思っています。3年生は卒業まで2か月を切りました。1・2年生は約2か月半で3学期の終業式を迎えます。令和4年度の残りの日々の学校生活を、これまでにない素晴らしいものにできるようお互いに頑張りましょう。

まさしく「傾聴」・・・腰塚先生の訪問に大感激!!

～ご講演からしっかりと学ぼうとする生徒の態度が実に素晴らしかったです～



12/14(水)に腰塚勇人先生による『命の授業 ～ドリー夢メーカーと今を生きる～』の講演会が行われました。本来なら体育館で行いたかったのですが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のためオンラインで行いました。

スキー中に大転倒し首の骨の骨折という大ケガにより全身まひの体になってしまった腰塚先生。多くの方の応援と支援により奇跡の社会復帰できるまでに回復し、人生も人生観も大きく変わりました。自らの体験を交えての熱いご講演でしたので、生徒たちはTVを通して見える腰塚先生とスライドを見ながらまさしく「傾聴」していました。ご講演からしっかりと学ぼうとする生徒の態度が実に素晴らしかったです。

私は、「ドリー夢メーカーとドリー夢キラー」、「生き方や命の使い方は自分で決められる」、「真の知識は経験あるのみ」、「感動とCAN DO」、「口・目・耳・心・手足・・・5つの誓い」が特に印象に残りました。



何と、12/22(木)の帰りの会に腰塚勇人先生がすべてのクラスを順に訪問し、熱いメッセージそして「5つの誓い」のシールを届けてくれました。クラスによって話す内容は多少違っていました。ドリー夢メーカーについて別の角度からわかりやすく話してくれました。各教室で腰塚先生が熱く語ったことを、ぜひ行動に移して欲しいと思います。私は腰塚先生の「知識や技能は道具であり、それをどう活用するのは、自分の心が決めることなので、こころをより一層みがいて欲しい」、また、「自分との約束を守る努力をして欲しい」という言葉が大変印象に残りました。・・・どのクラスの生徒たちも腰塚先生の訪問に大感激でした。なお、腰塚先生のご厚意で1/31(火)まで講演会の録画配信を「全保護者 Classroom」で視聴できます。ご家族でぜひご覧ください。

